

ばら

会員心得

- 1、喜んで働き、朗らかに生活します。
- 2、家族を慈しみ、和やかな家庭を築きます。
- 3、人を愛して争わず、互いの幸福を願います。

一般社団法人 倫理研究所
家庭倫理の会市川市 発行責任者 小嶋経子

純粹倫理基礎講座第4講

3月7日(土) アイリンクルーム 講師 金子英子参事 参加16名

第四講 「苦難観の理解を深める」

初めに講師から、オートレーサーの息子さん(45歳)が年末に全治8ヶ月の事故に遭われた時の体験で、毎朝「新世」を持って頒布したことや息子さんの足を揉めないで自分の足を揉んだこと、その結果5か月で完治したことを話された。

これを聞いて母なる力強さを感じ、「苦難が起きた時」は原因に気づき、自分の心持ちと生活を省み改めることの大切さを学んだ。

～苦難は、鬼の面をかむった救いの女神である

悪魔の顔をした応援団である～

想

デジタル創生

会長 小嶋経子

春の訪れとともに華やかな花や植物の彩で気持ちも明るくなります。

来年度の「デジタル創生」の説明会では、

不安や戸惑いがあり

ましたが改革の目的

を理解して前に進み

たいと思います。



物故会員功労者報恩式

3月26日(木) 参列3名

肌寒い春の小雨の中、終始厳かな雰囲気で行われました。

令和8年度の式年者には30年の小林伝七氏、10年の前潟義孝氏のお名前がありました。

会の為に身を粉にして尽くされていたお姿を想い出し、参列して良かったと感謝の念で献花を捧げました。来年度は多くの方と参列したいです。



真間支部 お花見

八幡神社の裏の素敵なカフェでホットサンド、ケーキをいただき真間川の桜を満喫しました。



若宮支部 田中英子さん孫
江藤楓さん(27歳) 油絵



まいわーんど・まいどりーむ

デジタル説明会

3月1日(日)

すわだ会場

参加者40名

講師 川又主席・中西研究員・堀次長

初めに川又主席より 倫理運動創始80周年「個人会員組織の改革について」という冊子から、丸山敏秋理事長のお書きになった内容について説明がありました。

1. なぜ改革するのか

日本が高齢社会になったこと。「農耕社会」「産業社会」から「情報社会」に進み、デジタル社会を実現してきている。

2. 理念を引き継ぐ

倫理研究所も一団体の意識や活動の枠を超えて、地域とむすび、地域を巻き込んだ地域密着・地域貢献型を展開する時が来ている。

3. 共同体の絆を強化する

家庭をよくする「家庭倫理の会」の最大使命である健全な家庭を取り戻すために倫理共同体の一員になること、仲間たちと「日本をよくする」活動に参加する勇気と誇りを得られるに違いない。

最後に「大きな改革になりますが、皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます」と理事長の言葉です。午後は皆さんそれぞれ研究員に手伝って貰いながら“リンクコム”のアプリを登録しました。またこのような機会を設けることにして説明会を終えました。

6月主な行事予定



6日(土) 会連絡会

11日(木) 初めて学ぶ短歌

14日(日) 生涯学習セミナー

20日(土) 生活倫理セミナー(富士研)

24日(水) サポートミーティング

28日(日) デジタル創生説明会

すわだ会場

南八幡3丁目自治会館

アイリンクルーム2

富士高原研修所

ミーティングスペース

すわだ会場